

くにおんアカデミー

国立音楽大学

サマー・ミュージック・セミナー2024

当セミナーは、キャリア等問わず、社会人（大学生・短期大学生等を含む）の方はどなたでもご受講いただけます。
講座によっては専門的な内容もありますが、懇切丁寧に指導いたします。

音楽科教育講座

- * 日程 * 8月17日（土）～8月18日（日）〈2日間〉
- * 定員 * ~~【実践研修】~~40名 定員のため締切
【指揮法】40名
- * 受講料 * 18,000円
- * 講座内容 * 次のページをご覧ください

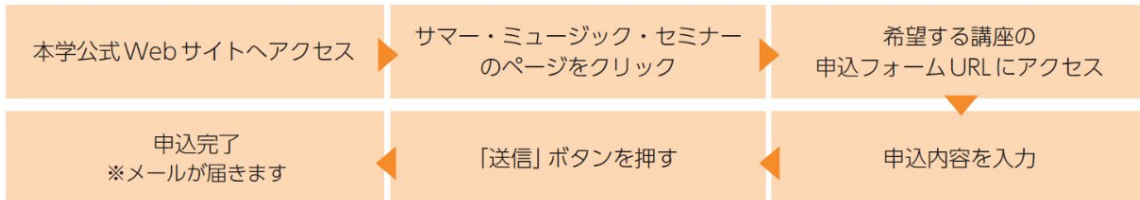
指揮法のお申込みのみ
受付中！

お申込みのご案内

* 申込受付延長しました *

申込締切 7月4日（木）16:00

* お申込み方法 *



お申込み後の流れや当セミナーに関する Q&A などの詳細は、
本学公式 Web サイトに掲載している要項よりご確認ください。

サマー・ミュージック・セミナー2024

本学公式 Web サイト・お申込みはこちら



音楽科教育講座のほかに
様々な講座を多数開講しております
ぜひご覧ください

〈お問い合わせ〉

国立音楽大学 KCMC 事務局（演奏芸術センター内）

受付時間 9:00～17:00（土日祝および8/6(火)～8/15(木)閉室予定）

TEL : 042-535-9514 / Email : kakikoshu-rijml@kunitachi.ac.jp

音楽科教育講座

期間	8/17(土)～8/18(日)	講座内容
受講料	18,000円(学生:5,000円)	【スーパーティーチャーによる授業に生かせる実践研修】 音楽授業実践の最先端をゆく先生方による、明日からすぐに活用できる授業アイデアを実践的に学ぶ講座です。 【指導に生かす指揮法】 3回の講座をとおして指揮法の基礎から授業に応用できるよう順に学んでゆく。 ・基礎編はブルクミュラーなどのピアノ曲を用いて、指揮のテクニックを解説しながら学んでいく。 ・応用①ではコラールから始め、授業でよく取り上げられる合唱曲を中心に進める。 ・応用②では古典派のシンフォニーのレパートリーおよび吹奏楽の名曲を取り上げる。
定員	【実践研修】40名 【指揮法】40名	
申込時 特記事項	まず、【スーパーティーチャーによる授業に生かせる実践研修】または【指導に生かす指揮法】いずれかをお選びください。 【スーパーティーチャーによる授業に生かせる実践研修】を選択した方: 選択講習①②③それぞれ希望の講義をお選びください。(①はA・B、②はC・D、③はE・Fより選択) ※受講希望が極端に多い選択講習は、先着順にて受講人数を調整させていただきます。受講講座のご希望に沿えない場合もありますのでご了承ください。	

◆受付は講習開始30分前より会場前で行います。

時間	講義	内容/持ち物・その他	会場	
8/17 (土)	10:00 ～ 10:10	オリエンテーション	「音楽科教育講座」の流れと受講上の留意点などについて、本学教授の津田正之がお話します。	5号館 121室
	10:10 ～ 12:00	全体講習 【今求められている音楽科の授業】 (臼井)	現行学習指導要領の趣旨を踏まえた授業を行うために必要なポイントを、二つのキーワード(「個別最適な学び」「思考・判断のよどみとなる主な音楽を形づくっている要素」)を基に、再整理します。 ♪小学校または中学校学習指導要領(平成29年告示)解説(音楽編)、高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説(芸術編)のいずれかを参照できるようにご準備ください。	5号館 121室
	13:00 ～ 16:00	実践講習① A.「子ども主体の授業づくりとは?—小学校」 (岩井)	「子ども主体」という言葉がよく使われている昨今ですが、子ども主体で教師の役割は何なのか?子ども主体の授業という名のもとに放任的な授業になっていないか?など、今一度その言葉の中身について実践を交えながら一緒に考えていきます。	5号館 121室
		実践講習① B.「子ども主体の授業づくりとは?—中学校・高等学校」 (佐藤)	生徒が必要感をもって主体的に取り組む授業とは何か?を考えます。様々な音楽の授業の実践例を基に、実際に音楽活動を体験しながら考えていきます。	3号館 212室
8/18 (日)	指揮法 指揮法Ⅰ〔基礎編〕 (山本)	平均運動、しゃくい、叩き、引っ掛けなどをブルクミュラーなどの曲を使って個人レッスンする。 ♪4B鉛筆、赤青鉛筆、消しゴム、指揮棒を使用する方はご持参ください。	新1号館142 オーケストラスタジオ	
	10:00 ～ 12:00	実践講習② C.「世界の諸民族の音楽を扱う授業づくり」 (勝山)	世界の諸民族の音楽を授業で扱う意味、教材の選び方、授業の流れとポイント、指導と評価の一体化、評価の方法、ワークシート、生徒一人1台端末の活用法、グループ活動等学習形態の工夫など、授業実践を学ぶ講座です。	6号館 110スタジオ
		実践講習② D.「ICTを活用した授業づくり」 (小梨)	ICT活用で音楽授業はどう進化するのか…一人1台端末とWebサービスを用いた領域別実践事例の検証を通し、児童生徒が主体的に音楽の学びを広げ、深めていくための効果的な活用方法を探ります。 受講曲: 小学校教科書に記載されている歌唱共通教材等 ♪パソコン、タブレット端末など(インターネット接続が可能なもの)、イヤホンもしくはヘッドホンをご持参ください。/学校の音楽授業に携わる方(携わっていた方)で、パソコン操作の基本的な知識をお持ちの方。	2号館 37室
	指揮法 指揮法Ⅱ〔応用①合唱〕	コラールや易しい合唱曲から授業で取り上げられる合唱曲などを、受講生による合唱を指揮する形でレッスンする。	新1号館142 オーケストラスタジオ	
13:00 ～ 16:00	実践講習③ E.「小学校の歌唱の授業づくり」 (後藤)	「音楽を通してみんながつながる」「曲と出会う」「表現を工夫する」「授業での歌って?」小学校高学年を中心に、歌唱の授業展開をみんなで考えていきましょう。 ♪実際に児童の立場で、授業を受けて活動をします。動きやすい履物・服装でお越しください。「歌はともだち」6訂版(4または5でも可)教育芸術社(税込400円)[要購入]	6号館 201室	
		F.「音楽づくり/器楽の授業デザイン」 (平野)	音楽づくりと器楽の授業について、学習指導要領の趣旨やどの子ども楽しめるような視点を踏まえた授業デザインについてご紹介します。音楽づくりも器楽も苦手な子どもの視点に立つと、きっと授業は変わっていきます。 ※小学校の内容が中心であることをご了承ください。	新1号館127 オペラスタジオ
	指揮法 指揮法Ⅲ〔応用②オーケストラや吹奏楽の作品から〕	モーツァルトやベートーヴェンの名曲、ホルストやリードなど吹奏楽の名曲を教材にレッスンする。指揮の基本的な技術の習得からブルクミュラーの楽曲を用いてのレッスン。	新1号館142 オーケストラスタジオ	

講師プロフィール

岩井 智宏 いわい ともひろ

武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。「音楽を通した人間教育」をテーマに研鑽を積む。国内外で様々な音楽教育を学び音楽の可能性を研究している。

臼井 学 うすい まなぶ

長野県教育委員会事務局 学びの改革支援課 参事兼課長(前文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官)

勝山 幸子 かつやま さちこ

港区立高松中学校主任教諭、評価規準、評価方法等の工夫改善に関する調査研究協力者(国立教育政策研究所)

後藤 朋子 ごとう ともこ

本学器楽学科ピアノ専攻卒。現在、東京都日野市立平山小学校指導教諭。

小梨 貴弘 こなし たかひろ

戸田市立戸田第一小学校教諭、東邦音楽大学非常勤講師。音楽教育情報サイト『明日の音楽室』主宰。

佐藤 太一 さとう たいち

埼玉県教育局市町村支援部義務教育指導課主任指導主事

平野 次郎 ひらの じろう

筑波大学附属小学校教諭(音楽科)、筑波大学非常勤講師。「音楽の楽しさを伝えたい」という思いから、工夫を凝らした実践を次々と開発中。

山本 訓久 やまもと のりひさ

本学卒業、東京藝術大学大学院修了、ウィーン音楽大学指揮科に学ぶ。元本学講師。書籍『学ぼう指揮法 Step by Step』『ブルクミュラーで指揮法入門』(アルテスパブリッシング)